

I ジュウサンボシゴケグモ

【国内における確認状況】

- ・国内で見つかったことはない。

【生態：生息地など】

- ・日が当たらず適度に湿り気がある場所に造網する。
- ・昆虫や小型の節足動物を捕食する。

【形態：大きさや特徴】

- ・雌の体長は、9～18mm 雄の体長は4～7mm。
- ・雌の腹部は球状であり焦げ茶色から黒色を呈する。
- ・通常、13～17個の赤色の斑点が不規則に並んでいる（希に無班のものもある）。
- ・幼体はより薄い色をしており、赤やオレンジ、白色のストライプまたは斑点がはいるなど、多様な模様をしている。

【原産地】

- ・原産地は亜熱帯地方



ジュウサンボシゴケグモ雌



ジュウサンボシゴケグモ雄

健康被害の具体例

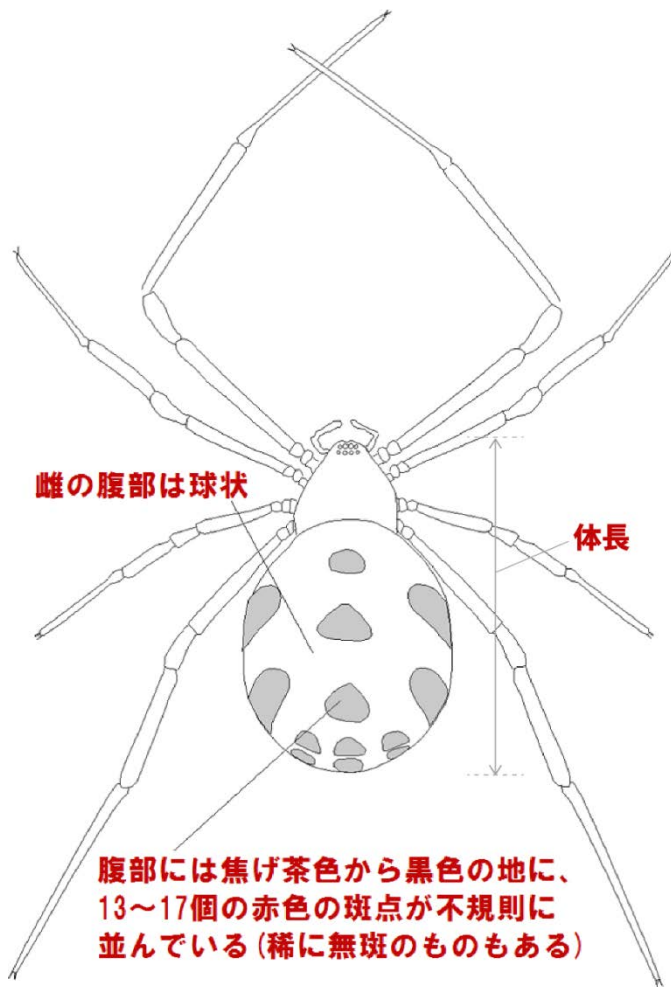
- ・本種は四種のゴケグモ類の中で最も毒が強い。
- ・**初期症状**：一般に鋭い針で刺されたような痛みがある。初期の痛みはすぐに治まるが、20～40分後に鈍い痛みが現れる。1箇所あるいは2箇所の刺し傷がある。
- ・**局所症状**：咬傷部は発赤がないことが多いが、紅斑と浮腫を伴うことがある。局所の発汗がしばしばみられる。
- ・**全身中毒症状**：30分から2時間以内に激しい筋肉痛、筋痙攣が始まる。胸痛や腹痛があり、狭心症や急性腹症と誤診されやすい。
- ・イラン北部では、死亡事例も報告されている。

被害を受けた場合の対処法

- ・医療機関を受診

特徴・間違えやすい類似種との識別点

【ジュウサンボシゴケグモの特徴】



【類似種の特徴】



類似種 (1) オオヒメグモ

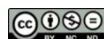


類似種 (2) フノジグモ



類似種 (3) マダラヒメグモ

["Synaema globosum" By joaquinportela](#)




["Steatoda triangulosa" By promisinime](#)



駆除方法

- ・ピレスロイド系の家庭用殺虫剤散布。
- ・人家内では、ナフタレンを家具の隙間やなかに入れておくと効果的である。

 [危険な外来生物 Webサイトへ](#)

この資料についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

東京都環境局 自然環境部計画課 / TEL 03-5388-3548 FAX 03-5388-1379